



# 国際ロータリー第2790地区

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH



## 千葉南ロータリークラブ会報

(創立)1964年3月2日

(例会日)毎・金曜日12時30分

(例会場)オークラ千葉ホテル

(会長)齋藤 昌雄

(幹事)植松 省自

(会報委員長) 永安 重治

(事務局) 〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

### 第2418回

平成25年9月6日(金) 点鐘12:30 <晴れ>

- ◇国歌斉唱 『君が代』
- ◇ロータリーソング『奉仕の理想』
- ◇四つのテスト ~言行はこれに照らしてから~

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

#### ◆お客様紹介

・ロータリー米山奨学生/  
トウルムハドゥール・ウーレンさん

#### ◆会長挨拶及び報告 齋藤 昌雄会長

村田会員の話を聞いて、本当に熱い思いが伝わってきました、目頭が熱くなってきました。何としても来年4月4日の50周年をぜひとも成功させたいと、改めてそういう気持ちを持ちました。全会員で、素晴らしい式典にしたいと思いますので、宜しくお願ひ致します。村田会員も最後まで千葉南ロータリークラブの面倒を見て下さい。

#### 理事役員及びクラブ協議会報告

◇入会候補者の件について

廻 辰一郎氏 満場一致で承認される。

◇財団法人青少年協会より後援依頼について

金親会員が評議委員になっていることもあり、千葉南RCとの繋がりが深いということもあって、ロータリーにおいても力を入れているということで、満場一致で承認。

◇例会の取り消しについて(定款第6条第1節(C))RIから補足が届いております。

- 1)1年に4回を上限として任意で例会を取りやめることができる。
- 2)国民の祝日(カレンダー上赤くなっている日)と例会が重なる場合、この例会を1)の回数制限とは別に休会することができる。
- 3)12月31日~1月3日の期間に例会日が重なる場合、この例会を1)の回数制限とは別に休会することができ

る。

4)一般的なお盆休み(地域毎の風習に準ずる)の期間中、任意の例会1回を1)の回数制限とは別に休会することができる。

5)理由の如何に因らず、例会取りやめは3回連続までは認められるが、4回連続以上は認められない。

ということで、本年度の当クラブの休会を1回増やす予定であることに対し、承認されました。

◇クラブ運営資金会計報告について、承認される。

◇国際里山の集いの会計報告について、承認される。

◇特別会員増強について、北原委員長より具体的なプランが示され、満場一致で承認される。

◇千葉県弁護士会からのアンケート依頼、承認される。

#### ◆委員会報告

会員増強委員会より (北原 俊彦委員長)

会長の打ち出した全員参加の会員増強をやろうということを受けまして、私の方で勝手に組織を作りました。次週、メールボックスに入れますので、今日貰っていない方は、自分がどこに所属しているかということをよく認識をしてください。「私一人だけは、違いますよ」なんて気持ち起きない様に、宜しくお願ひしたいと思います。

例会終了後、13時40分から「特別会員増強委員会」を開催しますので宜しくお願ひ致します。総勢15名の方です。今日欠席の方には、委員会で話し合われたことについて、それぞれの班の責任者の方が連絡を取って、近いうちに合同の委員会を開き、なんとしても50名になる様に頑張ってください。どうぞご協力の程宜しくお願ひ致します。

ロータリー情報委員会より (鈴木 美津江会員)

9月1日にフローラ西船で、国際ロータリー2790地区のロータリー情報研究会が開催され、私と植松幹事の2名で出席してまいりました。13時に点鐘、杉木研修リーダーと白鳥研修委員の基調講演があり、その後、テーブルごとのディスカッションが行われました。

共通のテーマとして「会員増強の意義について」、選択テーマとして、「例会の重要性」と「職業奉仕の重要性」でした。私たちのテーブルでは、「例会の重要性について」ということで話し合いました。その後、テーブルごとの発表がございまして、私たちのテーブルは、第3分区Bからということで、植松幹事から発表をしていただきました。内容は、オリエンテーションを行いましょう。そして、例会の中でもオリエンテーションを入れていったらいい

## 本日の卓話

演題⇒ 『自己紹介』

卓話者⇒ 中森 壽一郎会員

のではないかということでした。

出席が厳しすぎるのも、いかがなものかというお話もありました。また、新しい会員さんには、クラブに慣れるまで2人ぐらいの人を付けているというクラブもありました。そして、PR活動が足りないということで、パンフレットを作りまして、そのパンフレットに地元の地図を載せて、その地図を見るとロータリーのPRにもなるという使い方をしたらどうだろうと言う話も出ました。また、ちょっとセクハラになるかなと思われたのですが、若くてきれいな女性を入れるということでございました。

皆さん、とにかく若くてきれいな女性にご入会いただき、そしてその後で男性会員さんにご入会いただくということで、ご協力いただければと思います・・・。

### ◆ 9月度誕生日祝い・結婚記念日祝い

#### 《誕生日お祝い》

鈴木美津江会員、酒井秀大会員、太田和夫会員

#### 《結婚記念日お祝い》

斎藤昌雄会員

### ◆ ニコニコボックス報告

#### 《斎藤 昌雄会長・植松 省自幹事》

中森会員におかれましては、本日の卓話、宜しくお願い致します。

#### 《北原 俊彦会員》

10回目の北海道ツーリングを楽しんできました。一週間、霧雨に悩まされましたが、新たな出会いもあり、また体力の自信も再確認も出来ました。1,700km かなりの走りでした。

#### 《村田 紀之会員》

中森会員、本日の卓話を楽しみにしています。同じ緑中の同窓生です。当クラブには大勢いますから安心してください。

実は、私ごとですが、9月1日付で当ホテルの総支配人を退任致しました。今後は、参事として当ホテルに残ります。新総支配人は、赴任しておりますが、千葉南ロータリークラブの会員は私が継続を致しますので、これからも宜しくお願い致します。



東京都町田市にあった母の実家近くの病院で昭和38年に生まれました。

父が東京芝浦の会社に勤めていましたので、その近くのアパートで両親、姉の4人で暮らしました。千葉に子会社を設立するにあたり、

父が責任者として赴任することになり、小学校に上がる前に新千葉2丁目にあった借家へ家族で移りました。

昭和53年に千葉県立検見川高校に入りました。部活動はラグビーです。

顧問の岡部先生や体育の橋本先生のような個性のある先生がいましたし、体育の海塩先生、3年生の担任だった英語の信木先生をはじめ面倒見の良い先生も多かったです。楽しい高校生活でした。卒業後しばらくしてラグビー部OB会の会長も10年くらい務めました。今でも高校時代の友人は多く、その中でも長谷工コミュニティ技監の中谷君とは今でもよく会います。先週末も一緒に私の大学に行き学生とスクラムを組みコーチをしてくれました。東京の大学に入りたくなく、そして、広大な北海道に行きたいと思っていましたが、そのような理由でしたので父は反対しました。信木先生に話してもらったり、家を出て北海道の農場に住み込みで仕事をしたりして、やっと父も了解してくれました。そして3年生の秋に推薦試験を受け昭和56年に酪農学園大学に入学しました。

酪農学園は黒澤西蔵先生が創立した学校です。勉強はあまりしませんでした。先生の「健土、健民」(健康な土地に健康な人間が育つ)、「三愛主義」(人を愛し、土を愛し、天を愛す)を教わりました。入りましたラグビー部は思いのほか強く北海道の1部上位校で、4年生の時には北海道代表の北海道大学がインカレの全国大会で優勝をしています。

卒業後の進路を決める時に、ラグビー部の部長でした檜崎先生にアメリカでの農業研修を勧められました。とても興味がありましたので当時農林省と外務省が監督をしていました派米農業研修制度に参加しました。2年間アメリカに滞在し、農場で1年半働き、大学に半年通うという内容で、働いたお金で全て費用を賄えるという制度です。

昭和60年の夏に渡米しました。農場は3か月のショートタームと1年3か月のロングタームに分かれていました。ショートタームは夏から秋にかけてワシントン州の中部にあるブリュスターという町にある、果てしなく続くリンゴ畑がいくつもある農場で働きました。ボスはダン・ゲバースさんという白人で、ワーカーはメキシコ人でした。収穫の時期になるとピッキングする人たちがたくさん集まってきました。リンゴを1.5M3 ぐらいの箱につめるのですが、1箱つめると当時でUS\$10.00 ちょっとだったと思います。私はトラクターでその箱を運ぶ仕事でしたが、あちらこち

本日のニコニコボックス	4,000 円	累計	275,000 円
金の箱	420 円	累計	4,884 円

### ◆ 出席報告

出席者数31	欠席者数11	ビジター 4	修正出席率 78.57%
--------	--------	--------	--------------

### 千葉市内例会変更のご案内 [メニュー](#)にご利用下さい。

千葉RC	月	—	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	—	センテイタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	—	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	9/25	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水	9/25	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	—	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	9/26	京成ホテルミラマーレ

らから早くもってこい、早く持って行けと声がかかります。一生懸命にピッキングするメキシカンは良い収入を得られたと思います。メキシコ人は明るい人達です。ただし、どんな時でも結束するところがありました。

ロングタームもワシントン州中部にあるイフレータという町から 20km位離れている酪農農場で働きました。冬から翌々年の夏までです。農場には常時搾乳する牛が 300 頭、それと乾乳期の成牛、育成牛を加えると 400~500 頭くらいだったと思います。農場で働くのは、グレン カルストラムさんという白人のボスとその息子が 2 名、白人のワーカーが 2 名そして私です。その当時アメリカでは牛乳の供給過多となっていたのですが、驚くべきことに政府はバイアウト制度という、農場の牛をすべて処分すれば 1 年分の所得を補償するというを実施しました。ボスも迷っていましたが結局制度に依りませんでした。それ以外でも良いことは積極的に取り入れることが多く、アメリカは合理的な国であることを実感しました。大学は初めの 3 か月はワシントン州の中部のモーゼスレークという町にあるビッグベントコミュニティカレッジで主に英会話やアメリカの習慣を教わり、次の 3 か月はネブラスカ州リンカーンにあるネブラスカ州立大学リンカーン校で畜産の授業を受けました。

アメリカの学生と日本では独立心が違いました。コミュニティカレッジは寮生活、ネブラスカではホームステイをしました。当時は US\$1.00 が 200 円くらいだったと思いますが、物の値段、寮の食事、家の大きさや趣味 1 つをとっていても本当にアメリカは豊かでした。農場のボスに 1944 年前後の写真を見せてもらいましたが、普通の大学生活を送ってしまっていて戦争の影がなかったことに驚きました。

ちょうどその頃の日本は経済において 1 人勝ちの状態でしたので、日本のメーカーに対する批判も多かったのですが、テレビの討論会でソニーの盛田さんがアメリカ人を相手に堂々と意見を述べていたのも印象に残っています。

昭和 62 年夏に帰国してからは父の会社でアルバイトをしながら就職活動です。採用試験を受けて(株)日新に入社しました。東証一部の運輸会社で、当時の航空第一部狭山事業所に配属になりました。ホンダモーターさんの狭山工場内で補修用部品を、輸出・輸入する仕事です。2 年間狭山工場に駐在し、その後東京半蔵門にある東京事務所に勤務しましたが、入社して 3 年になる頃父に会社に戻るようと言われて退職しました。日新さん、そして、ホンダさんには多くのことを教えていただき大変お世話になりました。

当時、会社では作業だけでなく、庭石の輸入販売等の商事行為も行っていましたが、労働災害が続いた為に、売上高の少なかった商事部門は他に譲り作業部門だけとしました。作業会社にとって現場の安全が一番大事なことであり、また、より安全に品質の高い作業をすることは何よりも優先する目標です。会社設立当時は港湾荷役を主に行っていました。私が入社した頃は、正社員は少なく、臨時社員と作業量の増減に対応するために横浜より日雇い作業員を集めて作業をしていました。私

も大型バスを運転して横浜の寿町に朝早く行き人を集めて一緒に作業をしましたが、初めて寿町に行った時に道の真ん中で焚き火をしていた異様な雰囲気というのをよく覚えてます。

社長になって 10 期目になりますが、臨時社員を正社員へすることを進めて正社員数は事務系の役職員を含めて 86 名になりました。また、65 歳になっても健康で安全に作業できる社員を引き受ける子会社を昨年設立し約 10 名働いています。現在の業務内容は、工場構内等での作業請負等が約 6 割、港湾荷役とその関連作業が 3 割、その他は荷主代行等をしておりまして、売上高は年間約 6 億円です。今後とも社員にとって良い会社であり、得意先にとって必要な会社であるように、公平に誠実に経営していきたいと思っています。

最後に父について話をします。父は、福井県大野郡和泉村という九頭竜ダムの底に沈んでしまった集落で、9 人兄弟の七男、男兄弟の一番下で、昭和 8 年に生まれました。殆どの伯父は戦争に行きましたが、父は県立大野高校に行かせてもらうことができました。卒業後は高校の勧めで大阪にある花月という料理屋に板前として就職し、そこの娘さんが当時の横綱千代の山に嫁ぐことになった時に、大学に行きたかった父は付き人として東京に来て、しばらく横綱の部屋でちゃんこを作っていたようです。

戦争から還ってきた伯父が復員省での勤めを終え農林省に勤務していましたので、伯父の家に下宿してアルバイトしながら大学に通いました。学費と生活費は自分で稼がなければいけなかったのが、学生援護会に行きアルバイト料の一番高い会社を訊いたところ紹介されたのが芝浦にある中村荷役さんでした。大洋漁業の冷凍荷役をする会社でしたが、卒業する時に勧められて入社しました。千葉での子会社がある程度軌道にのった頃の昭和 46 年夏に母が発病し昭和 47 年 7 月に亡くなりましたが、その昭和 47 年 4 月にケンコーを設立しました。港湾の作業会社は怖いと思う方もいらっしゃるかもしれませんが、父は真面目に会社をやってきました。私の自宅は平成 20 年 12 月 25 日が引き渡しでした。その時家に来た父は大変喜んでくれました。その翌朝市原の自宅で息を引き取ったのです。良い所も、そうでないところも当然ありましたが、姉と私を厳しくとも愛情たっぷりと育ててくれた父には大変感謝をしています。

(文 中森 壽一郎会員)

#### 第2419回例会

日時⇒ 平成25年9月13日(金) 点鐘12:30

卓話⇒ 『私の幸せをつむぐロータリー』

卓話者⇒ 1976-1977 年度ロータリー財団奨学生  
山口 睦子様

#### 第2420回例会

日時⇒ 平成25年9月20日(金) 点鐘12:30

卓話⇒ 『ともに進めよう！未来へつなぐまちづくり  
～今後4年間の市政運営の基本方針～』

卓話者⇒ 千葉市長 熊谷 俊人様